



令和2年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和元年11月12日

上場会社名 サカイオーベックス株式会社
 コード番号 3408 URL <http://www.sakaiovex.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 令和元年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 松木 伸太郎
 (氏名) 森川 淳
 TEL 0776-36-5800

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	13,186	△3.1	944	△11.2	1,540	△16.2	1,085	△16.3
31年3月期第2四半期	13,609	9.0	1,063	19.4	1,838	22.0	1,296	26.7

(注)包括利益 2年3月期第2四半期 623百万円 (△48.3%) 31年3月期第2四半期 1,204百万円 (△15.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	176.16	175.01
31年3月期第2四半期	208.28	206.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	30,424	20,412	66.7
31年3月期	30,670	20,282	65.8

(参考)自己資本 2年3月期第2四半期 20,306百万円 31年3月期 20,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2年3月期	—	0.00	—	—	—
2年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	2.7	2,200	8.7	3,200	2.9	2,300	3.3	373.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期2Q	6,436,258 株	31年3月期	6,436,258 株
② 期末自己株式数	2年3月期2Q	290,883 株	31年3月期	203,347 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期2Q	6,159,751 株	31年3月期2Q	6,226,151 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見受けられるものの、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題、中東情勢の緊迫化による海外経済の不確実性の高まりなどから、依然不透明な状況が続いております。

この様な経営環境の中、当社グループの当第2四半期の業況は、繊維販売事業は増収だったものの、主力の染色加工事業、制御機器事業等が減収となった事から、グループ全体では減収となりました。利益面では、原材料価格やエネルギー費の高騰が続いており、減収とも相まって営業利益は減益となりました。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、これらに加え持分法投資利益が減少したことにより減益となりました。

当第2四半期の当社グループの売上高は13,186百万円と前年同期比422百万円(△3.1%)の減収となり、営業利益は944百万円と前年同期比118百万円(△11.2%)の減益、経常利益は1,540百万円と前年同期比297百万円(△16.2%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,085百万円と前年同期比211百万円(△16.3%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(染色加工事業)

当事業では、商品開発での客先連携をより一層強化するとともに、納期、品質関連への迅速な対応に努めました。用途別では、スポーツ用途やユニフォーム用途は堅調だったものの、婦人衣料用途、自動車関連資材用途等が低調に推移しました。利益面では、工場間連携の強化や稼働の効率化、調達資材の多様化、生産性の向上等に継続的に取り組んだものの、減収となった事に加え、原材料価格やエネルギー費の高止まりが続いており、減益となりました。

当事業の売上高は5,987百万円と前年同期比339百万円(△5.4%)の減収となり、営業利益は414百万円と前年同期比118百万円(△22.3%)の減益となりました。

(繊維販売事業)

テキスタイル事業は、ユニフォーム用途での市場浸透を図る一方、婦人衣料用途での商品開発に取り組むなど営業開拓に継続的に取り組みました。用途別では、主力のユニフォーム用途は堅調だったものの、海外向け婦人衣料用途は低調に推移しました。アパレル事業は、既存OEM事業で商品開発による新規用途開拓に努めるとともに、生産体制の再構築に取り組みました。また、両事業の連携による縫製品事業での市場開拓や縫製事業との合同展示会の開催など販促活動に注力しました。酒伊貿易(上海)有限公司は、アパレル事業との連携により、アセアン地域を活用した事業に注力しました。

当事業の売上高は、4,429百万円と前年同期比72百万円(1.7%)の増収となり、営業利益は218百万円と前年同期比3百万円(1.8%)の増益となりました。

(制御機器事業)

主力の制御装置関連では、自動車プレス自動制御装置が低調でした。FA自動制御装置関連は、国内の鉄鋼プラント及び化学プラントの設備投資が比較的順調であったため、堅調に推移しました。電力工事関連は、電力システム改革関連案件や老朽化設備更新案件が堅調に推移しました。情報システム関連は、生産工程管理システム案件が堅調に推移しました。

当事業の売上高は、1,060百万円と前年同期比36百万円(△3.3%)の減収となり、営業利益は178百万円と前年同期比9百万円(5.5%)の増益となりました。

(その他の事業)

織布事業は、海外向け織物用糸加工、高密度織物が堅調に推移しました。水産資材事業は、沖縄県での中層浮魚礁の販売に注力しました。建設不動産事業は、新築住宅物件や民間工事、リフォーム案件等の受注に取り組みました。複合部材事業は、モータースポーツ用途、スポーツ・レジャー用途での既存客先の深耕や販促活動に注力しました。縫製事業は、市況の低迷により海外縫製の受注減少が継続したものの、主力の百貨店系アパレルへの営業活動に注力するほか、ODMによる客先開拓に取り組みました。ヘルスケア事業は、関東圏の医療機関や代理店への販売活動を継続するとともに、チャンネルの見直しによる販売ルートの再構築に努めました。

その他の事業の売上高は、1,709百万円と前年同期比119百万円(△6.6%)の減収となり、営業利益は132百万円と前年同期比3百万円(△2.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ245百万円減少して30,424百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の減少などにより220百万円減少して15,758百万円となり、固定資産は、有形固定資産の減少などにより25百万円減少して14,665百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ376百万円減少して10,012百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより215百万円減少して7,491百万円となり、固定負債は、長期借入金の減少などにより160百万円減少して2,520百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ130百万円増加して20,412百万円となりました。これは、その他の包括利益累計額が463百万円減少したものの、株主資本が596百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は66.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は5,806百万円となり、前連結会計年度末に比べ591百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は357百万円の収入(前年同期は1,172百万円の収入)となりました。税金等調整前四半期純利益1,540百万円や減価償却費235百万円がある一方で、持分法による投資利益538百万円やたな卸資産の増加356百万円、法人税等の支払390百万円によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は203百万円の支出(前年同期は137百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出169百万円によるものです。

「財政活動によるキャッシュ・フロー」は740百万円の支出(前年同期は468百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額340百万円や借入金の圧縮208百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の連結業績予想につきましては、令和元年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,576,483	6,004,363
受取手形及び売掛金	4,359,835	4,444,874
電子記録債権	1,386,939	1,446,730
商品及び製品	1,527,399	1,680,756
仕掛品	674,148	754,507
原材料及び貯蔵品	514,383	615,748
その他	957,938	828,433
貸倒引当金	△17,674	△16,872
流動資産合計	15,979,454	15,758,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,273,759	2,275,313
機械装置及び運搬具(純額)	907,108	817,344
土地	2,510,527	2,510,527
リース資産(純額)	101,521	119,990
建設仮勘定	—	9,732
その他(純額)	33,564	37,022
有形固定資産合計	5,826,480	5,769,930
無形固定資産		
のれん	193,310	164,798
その他	91,730	93,649
無形固定資産合計	285,041	258,448
投資その他の資産		
出資金	5,571,689	5,707,692
その他	3,008,876	2,932,936
貸倒引当金	△1,060	△3,051
投資その他の資産合計	8,579,505	8,637,577
固定資産合計	14,691,028	14,665,956
資産合計	30,670,482	30,424,497

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,519,668	3,345,732
電子記録債務	1,037,794	1,021,241
短期借入金	1,289,873	1,376,009
未払法人税等	447,172	349,524
賞与引当金	560,739	566,812
その他	852,390	832,573
流動負債合計	7,707,638	7,491,893
固定負債		
長期借入金	933,320	638,267
環境対策引当金	21,872	21,872
退職給付に係る負債	911,361	929,140
資産除去債務	115,897	116,545
その他	698,296	814,620
固定負債合計	2,680,748	2,520,446
負債合計	10,388,386	10,012,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	1,235,128	1,232,519
利益剰余金	13,916,542	14,658,854
自己株式	△406,463	△550,067
株主資本合計	19,400,252	19,996,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	449,468	389,112
繰延ヘッジ損益	329	764
為替換算調整勘定	400,197	△10,097
退職給付に係る調整累計額	△75,977	△69,263
その他の包括利益累計額合計	774,017	310,516
新株予約権	61,136	57,201
非支配株主持分	46,688	48,089
純資産合計	20,282,095	20,412,158
負債純資産合計	30,670,482	30,424,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
売上高	13,609,441	13,186,622
売上原価	11,476,830	11,126,386
売上総利益	2,132,610	2,060,236
販売費及び一般管理費	1,069,408	1,115,640
営業利益	1,063,202	944,595
営業外収益		
受取利息	1,630	775
受取配当金	24,435	26,801
持分法による投資利益	697,231	538,613
その他	73,207	48,138
営業外収益合計	796,504	614,328
営業外費用		
支払利息	14,517	10,770
その他	7,021	7,676
営業外費用合計	21,538	18,446
経常利益	1,838,168	1,540,476
特別利益		
固定資産売却益	18,783	—
特別利益合計	18,783	—
特別損失		
固定資産除却損	97	121
特別損失合計	97	121
税金等調整前四半期純利益	1,856,854	1,540,354
法人税等	558,874	453,804
四半期純利益	1,297,980	1,086,550
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,221	1,428
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,296,758	1,085,121

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
四半期純利益	1,297,980	1,086,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,498	△60,383
繰延ヘッジ損益	7,886	434
為替換算調整勘定	△9,103	△7,685
退職給付に係る調整額	7,861	6,714
持分法適用会社に対する持分相当額	△182,363	△402,609
その他の包括利益合計	△93,220	△463,529
四半期包括利益	1,204,760	623,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,203,533	621,620
非支配株主に係る四半期包括利益	1,226	1,400

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,856,854	1,540,354
減価償却費	251,036	235,090
のれん償却額	15,673	28,511
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,219	1,190
受取利息及び受取配当金	△26,066	△27,576
支払利息	14,517	10,770
為替差損益(△は益)	△2,677	1,284
持分法による投資損益(△は益)	△697,231	△538,613
有形固定資産売却損益(△は益)	△18,783	—
売上債権の増減額(△は増加)	147,266	△145,341
たな卸資産の増減額(△は増加)	△337,045	△356,559
仕入債務の増減額(△は減少)	246,720	△189,272
その他	131,298	171,537
小計	1,578,343	731,376
利息及び配当金の受取額	26,066	27,571
利息の支払額	△14,600	△10,660
法人税等の支払額	△417,280	△390,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,172,528	357,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△157,695	△169,579
無形固定資産の取得による支出	—	△8,700
有形固定資産の売却による収入	23,870	—
投資有価証券の取得による支出	△2,406	△4,516
その他	△1,068	△21,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137,299	△203,880
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000	68,000
長期借入れによる収入	500,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△639,984	△676,917
自己株式の取得による支出	△512	△167,242
配当金の支払額	△308,940	△340,436
その他	△20,515	△24,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△468,952	△740,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,467	△4,147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	561,808	△591,446
現金及び現金同等物の期首残高	5,640,433	6,398,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,202,242	5,806,825

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成31年3月27日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式100,000株の取得を実施し、単元未満株式の買取りと併せて、当第2四半期連結累計期間において自己株式が167,242千円増加しています。

また、ストック・オプションの権利行使による自己株式の処分及び譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に伴い、当第2四半期連結累計期間において自己株式が23,638千円減少しています。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は550,067千円となっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,327,456	4,356,057	1,096,431	11,779,945	1,829,496	13,609,441	—	13,609,441
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	60,384	9,126	156,056	225,567	261,972	487,540	△487,540	—
計	6,387,840	4,365,184	1,252,487	12,005,513	2,091,468	14,096,982	△487,540	13,609,441
セグメント利益	533,178	215,020	169,344	917,544	135,925	1,053,469	9,732	1,063,202

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,987,920	4,429,031	1,060,094	11,477,046	1,709,575	13,186,622	—	13,186,622
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	64,058	782	99,146	163,987	344,312	508,299	△508,299	—
計	6,051,979	4,429,814	1,159,241	11,641,034	2,053,887	13,694,922	△508,299	13,186,622
セグメント利益	414,265	218,823	178,608	811,697	132,896	944,593	1	944,595

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。